九月十四日夕刊
常磐毎日新聞
日刊
定價一ケ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料 一行十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人 印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

古聖と語れ

眞繼雲山

遠く天竺、震旦の昔は措いて問はず、本朝に奈良佛教、平安佛教が開け初めてこの方の、各宗の管長級の人物は恐らく萬を以て算し得るであらう。それ等は僅かに本朝高僧傳中の數行を占むるにすぎず、その萬餘の高僧のうちから眞に傑出した偉大な大德碩學の人名のみが、漸く私たちの記憶の中に住んでゐるのであるこれ等萬餘の高德の敎へはその遺著となつて、汗牛充棟も啻ならぬ程に澤山あるわづかに數圓を投じて手を差し出せば、直ちにその尊い遺著を手にし得る。失禮ながら丸で古今の管長樣の展覽會、品評會に列して撰り取り勝手といふやうな旨い話である。私は斯うした今日に生れ合はせたことを欣幸とする。何ぞ手間ヒマつぶして現任管長樣の前に跪拜せんやである。

現任の管長樣から口づから敎へを受けることは一寸と骨が折れる場合もあるがそれ以上の古聖と日々夜々机上に相語り得ることを私はつね〳〵感謝してゐる。尤も相語るといふてもこちらから話しかける譯にはゆかず分らぬ点があつても聞きがへす便宜はないが、元來佛敎は難解な經典、祖師高德の難解な遺文を苦心再讀、反覆三讀して成る程と合点し、もつれた糸が釋然としてほぐれた刹那に豁然證悟を得るのである。

悟りとは思惟を前提とする、初めよりして、ほぐす餘地のないまでに解けてゐる平盤から、釋然解脫の得られやう筈がない。佛の敎へは私たちに思惟によつて自分の手で亂麻をほぐせよそこに求むる世界が開けるであらうことを指示する。初めから開けてゐるところに何物の開ける緣も生じないからである。〔完〕

竣功近き水道擴張事業概要（2）

平町　伏見彦衛

五、沈澱池

上野原淨水構塲內築造沈澱池は三個にして其の貯水量は（此內二個の有効容積十八萬立方尺一個は拾二萬立方尺）合計參拾萬立方尺となるが故に、一日給水量二拾萬立方尺に對し一日半分の給水量を貯水し得らるゝものとす、而して內二個は其構造上部長百三十尺、幅百尺、周圍壁勾配一割五分深さは引入口に於て十三尺五寸引出口に於て十四尺即ち底面には五寸の勾配を附し其貯水量各九萬立方尺なり、一個は上部百三十尺幅百十八尺、周壁勾配一割にして深さは前と同樣にして其の貯水量は十二萬立方尺なり、引出口には何れも浮動管を附し常に水面下一尺八寸の中水を濾過池に送水する裝置を有す、亦掃除用としては底部に內徑二百粍の泥吐管を設け沈でん池等排除に供す、池の滿水面位は海拔二百十四尺なり

六、濾過池

上野原淨水構塲內に築造濾過池は四個にして內三個は各池共上部長九拾尺、幅七拾五尺、深八尺、周圍壁勾配一割とす、一個は二面連續のものにして一面の長九拾六尺、幅六拾尺、深平均八尺二寸五分、周壁に勾配を附せず垂直とす、此濾過面積二面にして一萬一千二百平方尺と前記三個濾過面積一萬六千八百平方尺併せて二萬八千平方尺のろ過面積を有し、一晝夜十尺のろ過速度とし二十八萬立方尺の淸淨水を得る。ろ過効力ある一箇は常に汚砂掻取り、砂入潛掃除等に備ふるものとせり、其構造は全部混凝土造にして底の中央に導水溝を設け、ろ過層へ下部玉石、砂利と順次其粒を小にして積重ね、其上部に細砂厚二尺八寸を敷込み砂面上常に二尺五寸の水を滿へしむ、引出口には調整室を築造し內部に堰を設け之れに上下自在の量水扉を取付けろ過速度の調節を行ひ一日二十萬立方尺は淨水を內徑四百粍鐵管に依り集合井へ集注せしむるものとす此の延長四十間なり、ろ過池溝水面は海拔二百三尺五寸なり

七、送水管

送水管は集合井より百七拾六間二分五厘迄は內徑四百粍鐵管同点より二線に分岐し、一線は內徑三百粍鐵管を以て平町八幡小路配水池構內高架槽に達す、延長一千六百九十九間五分なり又一線は之れに並行して內徑二百五十粍鐵管にて配水池に達す延長一千七百二十二間二分なり。

金銀貴價買入
根本時計店
質札は（金時計鎖指輪類）有利に御相談致します
平町田町　丸新デパート

葬具と
靈柩自
動車御
用達
▼新らしく安い
造花は
平町新町川橋
屋本
電話一六三番

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關內藥局
電話四〇番

磐城名産
鄭節鄭
配達敏速
魚屋
最優最大日本生命平代理店
榮盛賀志
平四丁目　電二一三番

專門
產婦人科
花柳病科
◎入院應需
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

漆器は共が專門
品質の正確と!!!
値段の破格と!
在庫品の豐富と!
懸命の奉仕は!
弊店のモットー!!!
各國產漆器專門卸小賣
丸共共榮漆器店
平町三丁目北裏（元郵便局裏通り）
記念表彰品。恩賜賞與品。
進物贈答品。賞品景品類。御注文應調製
店員募集（十三才ヨリ二十二三才マデ）

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

健保組合員競技の開催地を爭ふ

平町に内定したと聞き郡山市が猛烈な運動を

▽……正式に本年平町と確定

既報本縣健康保險課主催同組合員の競技大會は來月中旬平町磐中グランドに於て開催する事に内定した事は既記の如くであるが其後郡山市が是非開催地であり度いと縣に向つて運動を開始した爲め同市對平町の開催地爭奪競爭となつた處遂ひに石城郡醫師會及び各炭礦業者の運動奏効し來月十六日平町に於て開催する事に確定した

十二の兩日東京陸軍戸山學校に開催される全國大會に向ふ爲め來月九日夜平驛發列車で出發する事になつた

水野縣視學が小學校を巡視

水野縣視學は來る十八日午後六時二十分着にて來平一泊左の日割に依り石城郡下各小學校を巡視すると

（十九日）江名（二十日）玉川鹿島（二十一日）入山（二十二日）内郷第一（二十三日）教員野球大會臨席（二十四日）磐崎（二十五日）泉校青年協議會臨席（二十六日）内郷第二第三（二十七日）飯野

磐女寄宿へラヂオ取付

磐城高等女學校にては寄宿生の爲め本日宿寄舍へラヂオを取付けたであらうと

鹿島眞綿講習

石城郡鹿島村農會では來る十八日午後一時より同村小學校に於いて眞綿製作講習會を開催する事となつた

檢事局の件數增加

多數は窃盗と傷害

平檢事局に於ける本年一月以降本日迄の受理件數は千二十件にて昨年同期に比し約二十五六件の增加を見て居るが多數を占むるは窃盗と傷害等にて殺人放火等もあり此の内起訴が百六十五件豫審に廻つたのが十件であると

磐中の……中途退學

本年度廿六名

磐城中學校に於ける今學期の退學者は本日迄に七名あり本年度合計二十六名に達したが此外休學者も六名程あり長きは八ヶ月に亘り憂慮されて居ると

第二職員辛勝

平第二小學校職員對世界館の野球試合は昨日午後二時より第二校グランドに於て行つたが延長戰の結果九A對八のスコアーにて第二職員辛勝した

小學生の水泳競技

入山プールで

石城郡湯本・入山、小名浜

鹿島入山小學校對抗水泳競技會

各小學校對抗水泳競技會は去る十一日午前九時より入山プールに於いて行はれた結果高等科は湯本校尋常科は入山校が優勝した

繭市況（13日）

△四倉市場

（白繭）二百三貫（最高）四十六圓六十錢（最低）三十八圓五十錢（剔）四十三圓二十錢

通學生徒の自動車賃値下

江名と豐間方面から

石城郡江名町及び豐間村方面より平町の各中等學校に自動車に依つて通學する生徒の現在數は江名十九名豐間十三名にてその自動車賃は一ヶ月間江名より六圓、豐間より五圓である爲め去る十一日豐間町收入役鈴木清利氏外二名が通學生父兄を代表して自動車營業者に料金値下げ方を交渉した結果江名より五圓四十錢、豐間より四圓二十錢に値下する事となり回數券を發行すると

警察官武德會

平署選拔選士

第四回全國警察官武道大分福島豫選に去る十二日出場した平署劍道部の十二所部長、荒川巡査柔道部の草苅部長の三氏はいづれも出場資格を得たので來月一、

梨果品評會の出品豫想が超過

係員整理に忙殺さる

既報石城郡農會主催にて來る十五日より平署會議室に於て催される梨果荷造品評會の出品申込みは平窪、好間外六ヶ村の各果樹組合より多數申込殺到し出品豫想三百箱が現在では五百箱に達して居るので係員は是れが整理に多忙を極めてゐる

市街戰を

鄕軍打合せ

既報平在鄕軍人分會では近く平町に於いて滿洲事變記念の市街戰を行ふに就いて來る十六日午後六時より丸友ホールにて協議會を開くと

平第三校籠球選手

既報磐城中學校主催郡下各小學校對抗バスケットボール大會は來月九日磐中グランドに於て行ふ事に決定したが平第三小學校の出場選手は左の如くであると

（A組）遠藤吉夫　白土弘　鷲甚一　遠藤信藏　若松雅雄

（B組）鈴木福壽　難波一郎　平野井正治　吉田喜藏　高平五郎

教員野球

申込チーム

既報濱三郡教員野球大會の申込締切は來る二十日であるが本日迄の申込チームは平第一A、同B、平第二、四倉、勿來、内郷、久之濱廣野、の八チームにて締切迄には昨年の九チーム位になる見て多分十チーム位になる

匪賊掃蕩夜話（12）

滿洲奉天駐劄軍曹　矢野重光

甕風呂

昨日も七里今日も八里明日も亦七里と連日の行軍此の行軍のつかれを忘れさせてくれるのは風呂だが其の風呂は支那の民家には全くない。

それで考案したのが甕風呂だ。連日の行軍にて汗と砂塵のため顏の見分けもつかない位になつた今日幸甕を利用して風呂が出來た。

午後八時頃俺も入つた處がその時突然!!!敵襲々々と同時にパン〳〵〳〵と銃聲も耳に入る。驚いたのは今入浴最中の俺さ、裸のまゝ飛出す分にも行かず、褌から完全に武裝に代へて辛うじて間に合つた。

それからの甕風呂には容易に這入らない。

安眠妨害

六月十七日より遊擊隊と行動を共にした。遊擊隊は今年の四月から兵隊を募集したばかりで訓練はまだ出來て居ない其れが爲に我々が大いに迷惑した事がある

六月二十三日の夜旺清と云ふ部落に宿營した時夜襲を受け遊擊隊と協力して之を擊退したのは良かつたが其の後遊擊隊と共に宿營すると彼等は火が見えたり、犬が吠えたり、木の葉がガサ〳〵音を立てゝも直ちに急激なる射擊をするので安眠を妨害する事甚しい子供のやる事だから仕方がないと一同苦笑した

貸切は
電話三四三番の
ミシサ
昭和タクシー!!!

四町議か連書で……
調度係を辭任
既に必要品は註文濟となり
我々はただお飾に過ぎぬと
けふ辭表を提出

平町の上水道竣工祝賀式は昨記の如く遺漏なきを期さんと町議及び吏員總出にて各係りを分擔し大童の肝煎りを爲す段取であつた處本日永山町議が町役場に出頭し左記連署の調度係員辭任の届出を爲した

吾々は竣工式調度係委員に選任せられ候も實際に於て何等執るべき職務なく調士係の必要無之ものと認められ候に付一同辭任致候也

吉田五平
石山治三郎
荒川淺次郎
永山富廣

右に關して吉田町議は語る

我々は調度係を仰せ付かつても實際は擧式に關する一切の調度品が既に註文濟となつて居る、是れでは購入した物品の責任を負はされる丈で何等自分達の働きを要する仕事がなく結局調度係は空名である事が判つたので其責めを負ふ事をお斷りする爲めに辭任したのである云々

負けた亭主に加勢して傷害
女房平署へ……
境界爭ひからの喧嘩

石城郡箕輪村大字高野白狐八二柴崎久平（三五）は去月卅日屋敷の境界爭ひから隣家の高萩之信（三四）と口論の揚句組打となつた際柴崎は高萩の爲め組伏られたので傍らに見て居た柴崎の妻キノ（三〇）は耕作用の鍬を揮つて夫に加勢し高萩の顏面や肩を强打して全治二週間の傷を負はした事此程に至り發覺平署にて取調中

松本二等兵重傷を負ふ
北滿のひ賊狩で

石城郡上遠野村出身松本秀之助氏は若松廿九聯隊第二中隊、二等兵として北滿にて活躍中であつたが去る十二日夜ハルビン郊外の匪賊蕩伐で重傷を負ふた旨急報があつた

列車で千圓盜まる
磐城無盡社長

平町大町二磐城無盡會社社長小宅嘉久治氏は昨十三日零時半頃東北本線郡山須賀川間の列車中で福島農工銀行頭取白石禎美氏を二等車に尋ねて談話中三等車に置

四百圓を懷中に養子行衛を晦す
▽……繭を買ふと稱し
▽……溫泉を遊び廻る

群馬縣群馬郡箕輪町西明屋居住金子吾八の養子秀次（二六）は去月廿八日繭買入れ爲めと稱して現金四百圓を懷中にした儘行衛を晦し本月二日頃會津郡中ノ澤溫泉に入り込んで居たが最近湯本溫泉に移つたらしいと本日平署に同人の捜査方を願出た

營利紹介罰金

既報石城郡上遠野村大字上遠野字西大澤一番地土工田中己之助（三）に對する營利職業紹介事業取締規則違反の言渡し公判は本日午前九時より平區裁判所公判廷に於て竹內判事係上田檢事及び吉田書記立會の下に開廷求刑通り罰金二十圓を言渡された

女房殺しの男
豫審の陳情を飜す
殺意がなかつたと頑强に
昨日の公判で

既報石城郡大野村大字戸田字諏訪大工職吉田重男（二八）が別れ話から憤慨し女房及び養母を鐵棒を揮つて殺害せんとした殺人未遂事件の公判は昨日午後一時より平支部公判廷に於て中島裁判長係り、關口竹內兩判事陪席、市川檢事及び澤田書記立會、松野尾辯護士列席の下に開廷、裁判長の訊問に對し被告は豫審陳述を飜して全然殺意がなかつたと云ひ張り檢事の論告に移つたが前後の事情より見て殺意のあつた事は明らかであるとの斷定より懲役三年を求刑し松野尾辯護士の減刑論があつて閉廷したが言渡しは來る二十日午前九時であると

平職業紹介所報告

回求人の部

△雜役　二十五才以下　尋卒　給料面談（四倉町某）
△自動車修繕工　二十五才以下　尋卒　日給五六十錢位（平町某）
△納豆製造見習　十八才迄　尋卒　月三四圓（平町某）

回求職の部

△雜夫　六十四才　讀書し得　給料面談（平町某）
△女中　二十六才　高卒　給料面談（內郷村某）
△事務員　二十四才　佑賢卒　給料面談（鹿島村某）
△兒守　十四才　尋卒　給料面談（平町某）

JOBK 明日のラヂオ 仙台放送局
十五日

天氣豫報

今晚は南西の風晴れたり曇つたり驟雨模樣明日は北西の風晴れ

今晚の部

▼後六、〇〇　子供の時間　兒童劇「行け！支倉六右衛門常長」宮城縣荻濱小學校兒童
▼後六、三〇　講演「關ヶ原合戰に就て」藤井治左右衛正
▼後七、三〇　講談「桃山の歌合せ」西尾魯山
▼後八、三〇　哥澤　哥澤芝勢社中
▼後八、五〇　錦心流琵琶「羅生門」佐藤錦峰
▼後九、三一　滿洲より全國ニュース　氣象通報番組豫告

明日の部

▼前六、三〇　家庭教育講座「青年の心理と性教育」京都帝國大學教授　博士野上俊夫
▼前七、〇〇　エスペラント講座（二十七）八木日出雄
▼前九、一〇　料理献立「パター燒菓子」中村光三
▼前一〇、三〇　家庭講座「ワイシャツの作り方」二士屋許子
▼後〇、〇五　落語「派手產」柳亭魚樂
▼後二、〇〇　講演「日本精神に就て」（一）高須芳次郎
▼後六、〇〇　子供の時間　お話「お月樣に代つて」鈴木健治
▼後六、三〇　趣味講演「川柳漫談月も歩く」小林不浪人
▼後七、三〇　「仲秋名月の夕」東京向島百花園より中繼（觀月短歌會）選者與謝野晶子（觀月俳句會）選者高濱虛子
▼後八、三〇　マイクロフォンロケーション—洛西大覺寺大澤池畔より中繼
▼後九、〇〇　月に奏でる「尺八想夫戀」小池玲山（箏二重奏）宮城道雄
▼後九、三一（滿洲より）長春より中繼—外文部總長謝介石

印刷物の御用命は總て常磐毎日印刷株式會社へ
電話六〇三番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百五十一席　女流劍客里見靜枝

傳藏道場に舞込む

下谷金杉の自身番に詰めてゐる家主は山路金作の訴へによつて提灯を持つて出て來たが三島神社の前は蕪方を流したやうな血、ビツクリして猶邊りを見ると武士二人が朱に染つて倒れてゐて一人はまだ息がある、そこで自身番へ擔ぎ入れ手當をした、此とき山路金作は家主にむかひ

金『手前は京橋槇町に道場を開き居る里見主計の門人にて山路金作と申す者、又これなる狼籍者は上杉浪人にて鍛下平八、秋田丈助と申して我師主計の爲に劍道の試合に打負しを怨み竹の塚より戻る途中此處に待ち受けて殺害いたしたるものに違ひない、師の死體は槇町の自宅に持つて參る』

家主『左樣でございますか誠に御氣の毒な事でございます』

金『どうもよんどころない就ては秋田丈助に問ふ事がある、コレ丈助、貴樣達二人の外に長谷部傳藏も此事に荷擔いたした事と思ふ、又傳藏の獲物は槍であらうシテ傳藏はどうしたかそれを申せ』

髷をムツと押へて頭を引立てた

丈『立退きました事と存ずる』

恁う言つたがブル〳〵と身をふるはせ息は絶えた、これにて傳藏が加はりし事も判つた、そこで主計の死體は駕に乘せて槇町の自宅に持つて來たが娘の靜枝は意外の椿事に涙も出ず暫く死體を見て茫然として居りました、ところへ女中の知らせによつて駈付けて來た五郎兵衛町の武藏屋金五郎、これは大名に人足を入れる人入れの親方、渡世がらとて俠みです、それに子分の甚吉、靜枝を慰み夜明けを待つて門人や知己に此事を知らせる、そこへ下谷金杉の町役人よりの訴へによつて町奉行より檢視が下りた是から主計の葬式を出す、會葬者は無慮五百人、寺は武藏屋の菩提寺麻布六本木淨土宗敎善寺七日七日の追福を懇に致すお話茲に一變して里見主計の殺された五月五日の夜半下谷阪本に道場を開き居る杉山五郎兵衛の下男久助があわたゞしく奥へ來て

久『先生、えらい者が參りました』

五『何だえらい者とは』

久『侍が來まして玄關に腰を掛けて息を吐いて居ります』

五『もツと判る樣に申せ、劍法者の許へ武家が參るとは當然でないか、さすれば珍しいとは云へまい』

久『只の侍ではれえだ、怪俄をして居りまして、血だらけでイヤもう其不氣味な事私は玄關の締りをしようと戸を手に掛けた時にズル〳〵と入つて來まして水を吳れろ、それにお願ひ申す事があると恁う申して居ります』

といふを次の間に居た秋山要介が聞いた前にも申上したが當時秋山に此處で病氣療養中です

要『コレ杉山、久助の申すによると傷を負うた武家が參つたさうだが』

久『左樣でございます』

要『當家を見掛けて來た者だこれへ通せ、其仔細を問ひ次第によつては手當をいたし遣はせ』

五『畏まりました』

五郎兵衛は手燭を持つて玄關へ出て來て見ると、傷を負うた武家が腰を下して太い息を吐いてゐる

五『貴公は何者だ又如何なる由緣あつて拙者方に參つた』

武『お願ひ仕ります、自分事は上杉浪人にて長谷部傳藏と申します、宿意あつて里見主計と申す者を三島神社門前にて朋友と共に討果しましてございます然し御覽の如く傷を受け最早一歩も歩む事もなりませぬ、御道報をお見かけ申して參りましたは、是にて切腹いたします、甚だ御迷惑でございませうが道場を拜借いたします、道路に於て割腹いたすは誠に殘念枉げて此事お聞き届下さるやう』

五『ウム左樣か、シテ他の者は何れへ遁れたかナ』

傳『彼等は里見のために討たれましてございます』

五『ウムさうか、まアこれへお通り下さい、コレ〳〵久助手を取つて上げろ』

久『えらい事になりましたナ、道場を借て腹を切るとは飛んだ者が舞込んで來たさア此方へ來さッせえ手を取り腰を押て奥へ伴れて來た』

一般物質
各種債券類
三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

九月十四日（水曜日）ヨリ特別大興行
松竹超特作　監督池田義信
デバートの姫君　全十卷
栗島すみ子　竹内良一　江川宇禮雄
◇日活提供CK　MK作品
◇千惠プロ創立以來の巨作
◇東京日日
◇大阪毎日新聞　犯罪公論連載
罠の渡世
片岡千惠藏　山田五十鈴　衣笠淳子
原作村松梢風　監督伊丹万作
仙臺放送局（HK）より擔當解說者石井孝氏が放送局推選により放送せる責任と自信ある近來の大名畫である!!　全二十卷同時上映
石井孝獨演
十五日……八幡宮大祭
十七日……土曜日
十八日……日曜日
晝夜二回公開
料金……普通二〇
映畫長尺　正七時映寫
ヒルの部　十二時ヨリ
日活松竹
平館
電466

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
製造販賣
菓子壜
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
仙臺市榮町（電話五九七番）
◇支工場